

# ショッピング

- 1 工房 空へく〜(天然石、雑貨等)
- 2 みつうつわ(器、照明等)
- 3 車修理工房Reterna(バイク修理・車検)
- 4 mokumoku(ハンドメイド木製品)
- 5 erimaki(猫グッズ等雑貨)
- 6 旧濱田医院 ※シェアショップ(アトリエ、ワークショップ等)
- 7 あははこぱん(骨董品、古道具)
- 8 Bitters&Sucre(雑貨、木料等レフトショップ)
- 9 木生活(木工小物、ワークショップ等)
- 10 takuroi(北欧家具、家具リペア)
- 11 シェアショップみつほ(雑貨、アークセサリー店等)
- 12 La'f ラフ(オーダー家具)
- 13 バイクカフェ カイエンドー(自転車販売、カフェ)
- 14 茶舗 de la musica(世界の雑貨)
- 15 蛙軒 ーガロクーン(新刊書店)

## Pick up

### 古建築を活かした店舗

三津浜町家バンクを利用したお店もどんどんOPEN!  
輸入雑貨を取り扱う「Bitter&Sucre」は、町家建築の土間を活用し、スタイリッシュにリノベーションして都会的な雰囲気。また、カレーランチやおばんざい屋の「檸檬楼」は築約90年の古民家を艶やかな趣にリノベーション。他にも、三津には歴史を感じながらショッピングや食事が楽しめる場所が増えています。



Bitter & Sucre



檸檬楼

# 三津の歴史

三津は愛媛県松山市にある瀬戸内海を臨む港町です。藩政時代には松山藩の御船手(船奉行)が置かれ、参勤交代に向かう藩船として発展の礎が築かれました。明治から昭和前期まで海運の要衝、商業地域として大いに栄え、複数の映画館、芝居小屋、遊郭や競馬場でもありました。時代の流れとともにかつての賑わいは失われましたが、戦災を免れたおかげで往時の賑わいを伝える古民家や史跡が多く残っています。



戦前の三津



現在の三津

# 古民家と空家

三津地区に現存する古民家は残念ながら多くが利用されずに空家になってしまっています。中には所有者が不明のまま、年々朽ち果てつつある建物もあります。こうした歴史的建造物が失われることを食い止め、新たな賑わいを呼び込む資産とするために、平成25年から「三津浜町家バンク」が始まりました。三津浜町家バンクでは、三津地区の空家調査、移住希望者と所有者とのマッチングを行っています。興味をお持ちの方はお気軽にご相談ください。物件情報などは下記ウェブサイトでも一部公開しています。



**三津浜町家バンク**

愛媛県松山市住吉2丁目2-20  
営業時間 10時～17時  
定休日 水・木曜  
お問い合わせ 080-4154-3696  
mail contact@mitsuhamaru.com  
URL www.mitsuhamaru.com

**ミツハマル** mitsuhamaru

検索

# 三津の渡し(渡し船)



河口港の中で三津と港山を結ぶ無料の渡し船。運行時間は約2分。市道の一部で朝7時から夜7時まで無休で運行されています。起源は古く、港山に河野通春が築城した1467年頃とされています。港山駅で電車を降りて渡し船で三津に渡るのが観光客に人気のルート。



# 練物、海産物、醤油

- 1 (株)村栗本店(味噌・醤油)
- 2 練や 正雪(じゃこ天、ちくわ)
- 3 田中屋株式会社(醤油・味噌)
- 4 丸木醤油醸造元
- 5 中辰(ちりめん、海産物)
- 6 遠藤味噌醤油醸造場
- 7 (有)堀本かまぼこ

# ART 三津の壁画



三津を散策しているときにふと目止まる壁画アート。お散歩マップのART印の場所に壁画があります。散策しながら探してみませんか?



# 三津お散歩マップ



# 食べる

- 1 Slow Aging Cafe Yukichi(スイーツ、カフェ)
- 2 風月堂伊予鉄三津駅店(和菓子、スイーツ、カフェ)
- 3 TonTon(クレープ)
- 4 焼鳥よし屋
- 5 メルヘン洋菓子店(ケーキ)
- 6 伊吹(ランチ、居酒屋)
- 7 フロマ(イタリアン)、アレル(チョコレート、チョコペン)
- 8 餃子のぶ(餃子、ラーメン)
- 9 とおから(メキシコ料理)
- 10 N's kitchen\* & labo(パン、カフェ、雑貨)
- 11 高見屋食堂(中華そば)
- 12 Toys Bread Factory(パン、アメリカン雑貨)
- 13 居酒屋てつや
- 14 たこ焼 松原
- 15 焼肉大山
- 16 味々(お弁当)
- 17 自然派食堂Vegetable(ランチ、お弁当)
- 18 檸檬楼(カレーランチ、おばんざい屋)
- 19 島のモロ黎茶 田中戸(カフェ、かき氷 ※シーズン)
- 20 味処いじさん(居酒屋)
- 21 あい戸口のたこちゃん(たこ焼き)
- 22 なんと寿司
- 23 すみれ(居酒屋)
- 24 次男坊寿司
- 25 田舎もん(居酒屋)
- 26 赤とんぼ(居酒屋)
- 27 レストランAKARI(フレンチ)
- 28 ビストロサンジヤック(イタリアン)
- 29 味園(焼肉)
- 30 まるい(定食、ちゃんぽん)
- 31 味処おかる(ランチ、鉄板焼)
- 32 十千坊(ランチ、居酒屋)
- 33 鯛焼きうどんタカラ
- 34 まよたこ(たこ焼き)
- 35 麦宿伝(クラフトビール&ゲストハウス)
- 36 太陽と月(カフェパル)
- 37 鯛や(鯛メシ専門店)
- 38 食事処ふじおか
- 39 なだまる(ランチ、居酒屋)
- 40 厨へくりや〜(ランチ、居酒屋)
- 41 桃屋(お弁当)
- 42 つけ麺真中
- 43 とんとお好み焼き
- 44 吾恵紋(居酒屋)

# 森家(鯛メシ専門 鯛や)

銅板が貼られた外観が特徴的な森家の母屋は1929年の建築。希少性と保存状態から文化庁の有形文化財として登録され、現在は一日に30食限定の鯛メシ専門店として公開しています。また屋敷の2階には俳句関係など三津の歴史的資料を展示しており、200円で閲覧できます。



# 三津浜焼き(加盟店)

- 1 お好み焼き日の出
- 2 こもす
- 3 那須
- 4 お好み焼きみっちゃん
- 5 お好み焼きいずみ
- 6 みよし三津店
- 7 吾恵紋
- 8 ひよこ
- 9 みよし駅前店
- 10 味処いじさん

# 三津浜ソウルフード「三津浜焼き」

大正時代の一銭洋食にルーツを持つ三津のソウルフード。狭い地域に20店舗を超える三津浜焼きのお店が営業しています。それぞれに微妙な違いがありますが、そばかうどんで入っている、半月型に折りたんで出されるのが基本スタイル。地元民は箸ではなくコテで食べるのがスタンダード。





三津嶋神社

三津で制作する絵描き・油野(かひ)の菅茂さん。三津を歩けば家の作品に出会える!

三津と港山を結ぶ市営の渡し船。市道のため無料。年中無休!! 500年経った今も、みんなの暮らしに欠かせない足です。

国の有形文化財に登録された築130余年の木下邸がある旧須崎町。約300年の歴史がある、三津で最も古い町の一つ。第2・4土曜日は木下邸を古民家カフェとして公開しています。

お好み焼きのいずみさん! とってもチャームアップで、美味い! 三津お好み焼きとはまるこりとして気分にさせてあげます!

吉川(きちがわ)さん。元製菓店営業の蔵はぎやうり。吉川としてリニューアルし、中には重要な菓子の木型や木製冷蔵庫などを展示。蔵は探検してても可也!

正岡子規が東京の学生だった頃、隣省の佐賀に訪れた「築山園」のある旧場所付近。新年会や例会を行い、中秋の名月も観たそう。

日露戦争直前にイギリスから購入した菱甲巡洋艦。戦艦博物館に展示されていたものを数隻三津浜の二のあたりに転売。現在は修繕を予定しています。

瀬村さん。三津浜地区まちづくり協議会の会長。11月、このまちを全力でサポートしてくれませんか! (株)瀬村製材所

種和正智のしーせつさん。あつたに開店。売れたいというの心で2度店主! 三津浜7エーターズの代表もつてはいます。

田中ファミリー。島と世界を活躍するマスターが、絶大な美味しーローゼ! 彼の小さな一つ一つの喜び。夏場の氷は最高!

東京実業小嶋製菓。生きた生菓子。お菓子作り。三津の希望の人はぜひお話を聞いてみて!

千代田シヨップ。1号店、2号店。写真機を展示しています。

住吉神社。みつはまレポート。

餃子のおさん。おさんの作る餃子は、おみつになる美味しさ。面白い話もいっぱい聞かせてよ!

松山市駅とともに。四国で初めて開設された鉄道駅!

明治22年、夏目漱石は三津駅から汽車に乗り込みました。

伊予駅。三津支店。宮前川。

みやつお店主のりちゃん。作家物の器などが並ぶセレクトショップ。

ヤングさん。三津南商店街のリーダー。的存心。いつもみんなを助けてくれます。

大塚三商店(旧塚田家)。三津は猫の多い街。春に生まれた子猫たちはみんな、飼い主さん! のどかな風景です。

三津殿島神社。Mittan(三津) Guest House。

虎舞。松山・坂本・加藤。春明が朝鮮出兵の際に山中で亡くなったと伝説に書かれたという伝説にちなみ、三津殿島神社の秋祭りで奉納されています。

景外から移住してきた三津在住のボイス・ブローマー・中川トコさん。彼女の歌は世界を変えた。

美しい夕日が見えるアートスポット。

山口県や中島を結ぶフェリー便。

三津浜港。フェリー乗場。三津浜港。コインパーキング。

松山市。水産卸市場。

フェリー乗り場前。おじいさん。正岡子規の句碑があります。「十一人一人に於て秋の暮」。

大原長政屋跡。三津出身の長政は子規の相方の先生でした。全国で三番目に古い句碑「長政の居る辺」を発行しました。

小富士保育園。鳥美鎮神社。

三津の朝市の起源は1447年。明治には17ヶ型の円形屋根の魚市場が建設され、関西有数の大型魚市場に発展しました。現在は新しい市場で3ヶ月に一度「旬・鮮・味まつり」として催しをしています。

平尾成年の会長。ゆうじさん。三津のウケルワード。三津お好み焼き推進活動や三津漁火大会。毎年7日間。毎日のシニアイベント。などやまざまなイベントを盛り上げている三津。とっても重要で頼れる存在です!

かつては二枚舢舨で、沖に停まった参勤交代用の大型船や明治時代の汽船へ入る運送船の発着地。秋山兄弟や正岡子規も港を控へ、二の場所から参勤の時代へ響きました。

三津出身。ザンドマートパフォーマー。田村祐子さん。生まれ育った瀬戸内の華を、お絵描きで表現。YouTube「選い風」で検索してみてください!

三津浜小学校。梅田郵便局。

三津は古くから醤油や味噌の製造が盛んでした。港町では「なぐり」で、明治までは塩田も稼働されており、地産地消があったのです。今でも昔ながらの製造を続け、前を通ると醤油のいい香りが漂っています。

三津殿島神社の。綱屋・柳原光祥さん。10月に行われる秋祭りでは、大迫力のお神輿の観覧が、必ず見えます。

四国最大級の三津浜花火大会。毎年8月第一土曜日に開催! 約2万人のお客様が県内外から訪れます。<http://www.mitsuhamanet/hanabi>

- 三津浜 焼きの店
- 味噌 醤油の店
- 食べる 壁画
- 三津浜焼き
- シヨッピング
- 練物、海産物、醤油
- 古民家
- 町歩き案内看板



制作/松山市、三津浜地区まちづくり協議会、三津ハマルイラスト/田村祐子